

## 大垣南高校への「出前講義」

岐阜県立大垣南高校に「出前講義」に行ってきた。大垣の街並みをもう一度じっくり見たかったので、自ら手を上げての出張である。南高校は大垣駅から近鉄養老線に乗って4つほどの「大外羽」という駅から10数分のところにある。市街地に近いところのつもりが、あてがはずれた感じた。昼過ぎの養老線は1時間に1本であり、事前にゼミ生に時刻を調べてもらって助かった。さびしい無人駅から高校に向かう途中で、元気の良い高校生らに出会った。



出前講義のテーマは例によって「地域から現代社会を考える」である。校長室や教室までの案内、講師紹介を3年生2人がやってくれたが、じつに感じの良い生徒であった。講義は「磨き」をかけているパワーポイントと映像を使い、地域をとりまく状況と課題についてビジュアルに問題提起した。生徒はとくに岐阜や大垣の商店街の写真などに興味を示していた。

講義の前後に高校をとりまく問題について話が聞けた。例の履修科目とともに、高校へのアクセスとして重要な近鉄養老線の「撤退」問題に関心をもった。養老線は生徒の足であり、高校にとって死活問題である。ただし、今でも多くの親が朝夕に車で生徒を送り迎えしているという。まさに「車社会」における教育の現実であろうか。



(2006年12月25日 記)